

平成16年 8月18日

各 位

会社名 株式会社熊本ファミリー銀行
 代表者名 取締役頭取 河 口 和 幸
 本店所在地 熊本市水前寺 6 丁目29番20号
 コード番号 8 5 5 3 福 証
 問合せ先 経営管理部長 岸 本 清 一
 (TEL 096-385-1111)

四 半 期 情 報 の 開 示 に つ い て

当行の平成17年 3 月期第 1 四半期 (平成16年 4 月1日から平成16年 6 月30日) における四半期情報について、お知らせします。

(注) 以下に記載する数値は、監査法人の監査を受けておりません。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」

【連結】

	(単位：億円) 平成16年 6 月末	(参考) (単位：億円) 平成16年 3 月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	421	403
危険債権	473	572
要管理債権	258	246
合 計	1,153	1,222

- (注) 1 上記の平成16年 6 月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
- 2 平成16年 6 月末の計数は、当行の定める「自己査定基準」に基づき、平成16年 6 月末時点で実施した資産の自己査定結果による債務者区分を前提としております。
- 3 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」については、部分直接償却相当額を減算しております。

【単体】

	(単位：億円) 平成16年 6 月末	(参考) (単位：億円) 平成16年 3 月末(実績)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	365	346
危険債権	472	571
要管理債権	283	271
合 計	1,121	1,190

2. 自己資本比率（国内基準）【連結】

	平成16年9月末(予想値)	平成16年3月末(実績)
連結自己資本比率	7.3%台	7.22%
連結Tier1比率	6.5%台	6.43%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

3. 時価のある有価証券の評価差額【連結】

評価差額

	(単位：億円) 平成16年6月末				(参考) (単位：億円) 平成16年3月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
其他有価証券	1,328	15	32	17	1,270	10	28	17
株式	178	21	29	7	170	15	25	10
債券	1,078	6	1	7	1,072	4	1	6
その他	72	0	1	1	27	0	1	1

(注) 1 平成16年6月末の「評価差額」（および下表「含み損益」）は、平成16年6月末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前）と時価の差額を計上しております。

2 その他有価証券の株式及び受益証券については（四半）期末日前1ヵ月の市場価格の平均等に、それ以外については（四半）期末日の市場価格等に基づいて算出しております。

3 有価証券のほか、コマーシャル・ペーパー等も含めております。

4 なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	(単位：億円) 平成16年6月末				(参考) (単位：億円) 平成16年3月末			
	帳簿価格	含み損益			帳簿価格	含み損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
満期保有目的の債券	100	3	0	4	100	3	0	3
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-

4. デリバティブ取引【連結】

(1) 金利関連取引

該当ありません。

(2) 通貨関連取引

区分	種類	(単位：億円) 平成16年6月末			(参考) (単位：億円) 平成16年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	-	-	-	-	-	-
	為替予約	1	0	0	4	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引
該当ありません。

(4) 債券関連取引

区 分	平成16年6月末			(参考)	平成16年3月末		
	契約額等	時 価	評価損益		契約額等	時 価	評価損益
取 引 所	-	-	-		-	-	-
店 頭	5	0	0		-	-	-
合 計			0				-

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引
該当ありません。

(6) その他
該当ありません。

5. 預金・貸出金の残高【単体】

	平成16年6月末		平成16年3月末	
	(単位：億円)	(参考)	(単位：億円)	(参考)
預 金	11,481		11,930	
うち個人預金	8,482		8,483	
貸 出 金	9,812		10,237	
うち個人ローン	2,079		2,078	
うち中小企業向け	6,478		6,855	

預金については、個人預金はほぼ横ばいで推移しましたが、法人預金、公金預金の減少により16年3月末比 449億円となりました。

貸出金については、個人ローンは堅調に推移しましたが、中小企業向け貸出の約定回収により16年3月末比 425億円となりました。

本件に関するお問合せ先
経営管理部 広報グループ
担当 立花 まで
TEL 096- 385 - 1117